

COVID-19最新情報：NEJM誌、Lancet誌の論文撤回、重要著者1名に注目

公開日：2020/06/19

[■ インデックスページへ戻る](#)

COVID-19 Update: NEJM, Lancet Studies Retracted; A Look at One Key Author

Ryan Syrek / Medscape 2020/6/4

現在知っておくべきであると全世界のMedscape編集者が考えている、新型コロナウイルスに関するいくつかの情報を以下に紹介する。

2誌に掲載された論文が撤回される

Lancet誌に掲載されたhydroxychloroquine (HCQ) の解析と、New England Journal of Medicine (NEJM) 誌に掲載された心血管疾患の試験の著者らは、両論文を撤回した。研究者らは、Surgisphere Corporationから提供された情報の完全性を懸念し、これについて言及している。試験結果を確認するため、同社が提供した重要なデータの検証を外部のレビュアーが実施できなかった後に、著者らは撤回を請求した。

両試験の基礎となったSurgisphereデータベースに関し、複数の主要雑誌が懸念を示した直後に、これらは撤回されている。同社の創設者であるSapan S. Desai氏は、両論文の共著者である。MedscapeはDesai氏の論文発表歴について調査し、研究不正に関する数件の警告と、さまざまな専門分野に焦点を当てたレジストリ試験を見いだした。

一方で、同じくNEJM誌に掲載された、Surgisphereデータベースを使用していない別の試験では、COVID-19と確定診断された患者に濃厚接触した人の感染リスクはHCQによって低下しなかったことが明らかになっている。本試験には、米国およびカナダにある複数の施設から821例が組み入れられた。その結果、HCQ投与群とプラセボ投与群の間で、COVID-19を疑う病態の発生率に有意差がなかったことが示されている。

COVID-19治療法としてibuprofenを調査

ロンドンの研究者らは、COVID-19の入院患者においてibuprofenが有望な治療法かどうかを見極める臨床試験を開始している。本試験では、OTCの鎮痛薬の錠剤とは異なる製剤の「lipid ibuprofen」が使用される予定である。

ibuprofenを脂質に溶解させた本製剤が、入院患者で機械的換気が必要とならないために役立つと期待されている。本試験では、本製剤を3種類の用量に設定し、COVID-19の進行、集中治療室入室期間、入院期間、全生存率に与える影響を評価する予定である。

COVID-19では回復期患者からの血漿療法が有効かつ安全

査読付きの小規模試験では、重症COVID-19患者25例のうち19例（76%）において、回復期患者の血漿を使用した治療が安全かつ有効であったことが見いだされている。本治療法では、COVID-19回復後に抗体を保有した人から得られた血漿を患者に点滴投与する。試験参加者の年齢は、19～77歳の範囲であった。

臨床的改善は、WHOの修正版6段階スケールを用いて評価された。9例で血漿投与7日後に臨床状態が1点以上改善した。安全性について主要な懸念は報告されていない。

パンデミック中に救急受診が40%以上減少

米国疾病予防管理センター（CDC）による新たな報告では、COVID-19パンデミック初期の4週間において、救急（ED）受診が42%減少したことが明らかになった。2019年3月29日～4月25日の受診件数（週平均）は220万件弱であったのに対し、今年の同期間の受診件数は120万件を少し超える程度まで減少した。

予想されたとおり、感染性疾患に関連してEDを受診した患者の割合は有意に高く、また下気道疾患（インフルエンザ、喘息、気管支炎は含まず）、心停止および心室細動、結核以外の肺炎で受診した患者の割合も同様に高かった。

COVID-19と疑似科学の増加

新たなコメンタリーでは、意見や推測に基づく医療がCOVID-19によって増加していると議論されている。サプリメントから効果が証明されていない治療法に至るまで、検証済みの科学的情報と同程度に、逸話が医療行動に影響を与えている、とHarpreet S. Bajaj氏は懸念している。

不必要な負傷や死亡を恐れるBajaj氏は、声を上げ、誤った情報に反論し、さらには法的措置をも検討することによって、「この疑似科学の猛火を消し止める」よう科学コミュニティや医療コミュニティに対し訴えている。

COVID-19における性差

研究者らは感染率から死亡率に至るまで、COVID-19に罹患した男女の間にさまざまな差を見いだしている。JoAnn Manson氏は、これらの結果が意味することについて考察している。

同氏は、生物学的因子と行動/社会文化的因子の両方が作用している可能性がある、と結論付けている。Manson氏は、治療や予防の戦略を立てる際には、生物学的な性および社会的・文化的な性に基づく違いを考慮するよう研究者らに対し強く主張している。

追悼

最前線の医療従事者は、COVID-19患者の治療によって困難かつ消耗する仕事に従事しており、また感染リスクにさらされてもいる。世界中で1,000人を超える医療従事者が死亡している。

Medscapeは、彼らを記憶にとどめるための追悼リストを公表している。残念ながら、このリストは必要に応じ更新されるだろう。☞本フォームを通じて氏名と年齢、職業または専門科、居住地を届け出ることにより、本リストが完全なものとなるよう手助けしてほしい。

Ryan Syrek, MA, is the section editor for Medical Student and Resident content at Medscape.

Medscape Medical News © 2020

Medscapeオリジナル記事はこちら

☞<https://www.medscape.com/viewarticle/931800>